

岩手県保健医療計画 (2013-2017) に係る進捗評価調査 [記載例]

I 疾病・事業及び在宅医療
(がんの医療体制)

1 施策の方向性と数値目標の達成状況

施策の方向性

- がん対策基本法の理念に基づき、県民の視点に立ち、医療従事者や行政機関などの関係機関が一体となりながら、・・・体制の構築を進めていきます。
- 喫煙対策やがんに関連するウイルスの感染予防など、がんの発症リスクの低減に向けた取組や、・・・がんの早期発見に向けた取組を進めていきます。
- がん診療連携拠点病院を中心とした専門的診療、緩和ケアや患者や家族等への・・・多方面からの継続した医療提供体制の構築を進めていきます。

| 目標項目 | 現状値 (H24) | H25 | 推移 | H26 | H27 | H28 | 目標値 (H29) |
|-----------------------------|-----------|-----|----|-----|-----|-----|-----------|
| 75歳未満のがんによる年齢調整死亡率 (人口10万対) | ㉓85.7 | | ↑ | | | | 72.8 |
| 成人の喫煙率の減少 | ㉑21.8% | | ↓ | | | | 15.8% |
| ・・・ | | | → | | | | |

【数値目標】

| 目標項目 | 現状値 (H24) | 目標値 (H29) |
|---|-----------|--------------------|
| 75歳未満のがんによる年齢調整死亡率 (人口10万対) | ㉓ 85.7 | 72.8 |
| 成人の喫煙率の減少 | ㉑ 21.8% | 15.8% (㉒ 12.0%) |
| 受動喫煙の無い職場の実現 (受動喫煙防止対策を実施していない職場の割合の低下) | 37.6% | 14.1% (㉒ 0.0%) |

【施策】
〈施策の方向性〉

- がん対策基本法の理念に基づき、県民の視点に立ち、医療従事者や行政機関などの関係機関が一体となりながら、・・・体制の構築を進めていきます。
- 喫煙対策やがんに関連するウイルスの感染予防など、がんの発症リスクの低減に向けた取組や、・・・がんの早期発見に向けた取組を進めていきます。
- がん診療連携拠点病院を中心とした専門的診療、緩和ケアや患者や家族等への・・・多方面からの継続した医療提供体制の構築を進めていきます。

〈主な取組〉
(がんの予防)

- 「健康いわて21プラン」に基づき、がん予防のための生活習慣に係る知識の普及や情報を提供していくとともに、生活習慣改善の行動変容を支援する情報提供や環境整備を進めていきます。
- ・・・

(がんの早期発見)

- 関係機関との連携により、がん検診受診率の低い年齢層や地域等を対象とした重点的な普及啓発や受診勧奨を行うとともに、検診実施期間の拡大や主に働く世代の受診に配慮した休日・夜間帯の検診実施など、利用者が受診しやすい環境整備に取り組みます。
- ・・・

(がん医療)
ア 医療機関の整備と医療連携体制の構築

- 県内のがん医療の均てん化に向けて、釜石保健医療圏における県立釜石病院の地域がん診療連携拠点病院への国の指定に向けて体制の確保などに取り組みます。
- ・・・

イ がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成
ウ がんと診断された時からの緩和ケアの推進
エ 地域の医療・介護サービス提供体制の構築
オ 小児がん

(がんに関する情報提供及び相談支援)

- がんの早期発見・早期治療を進めるため、がんに関する正しい知識や、がん検診の種類や方法に関する情報等をきめ細かく提供していきます。
- ・・・

(がん登録)

- がん診療連携拠点病院等のがん医療を実施する医療機関においては、がん登録数の増加を踏まえ、その精度の向上や診療録等から必要なデータを採録・整理して登録する診療情報管理士等の配置にも努めながら、院内がん登録及び地域がん登録の実施に積極的に取り組みます。
- ・・・

【数値目標の経年変化 (グラフ)】
※数値目標に係る経年変化を示すグラフを挿入

達成状況について、数値目標や進捗評価の状況を踏まえ、A (順調)、B (概ね順調)、C (やや遅れ)、D (遅れ) の4段階で評価する。併せて、達成理由を簡潔に分かりやすく文章で記載する。

2 進捗評価

達成状況 **A** **がんの医療体制については、** 県立釜石病院ががん診療連携拠点病院に指定され、全ての保健医療圏でがん診療に係る均てん化が図られたほか、地域統合相談支援センターの整備により、労や経済的な問題をも含めた総合的な相談体制が整備されたこと等から、順調に進んでいます

【主な取組状況】

- がんの予防については、・・・
- がんの早期発見については、
- がん医療については、・・・
- がんに関する情報提供及び相談支援に
- がん登録については、・・・
- また、岩手医科大学において・・・に取り組む

「主な取組」の項目ごとに、「現状を把握するための指標」の動きや予算事業による成果などを踏まえ、進捗状況を定性的に評価する。なお、主だった取組を実施できなかった場合や「現状を把握するための指標」が把握できなかった場合など、記載が困難な場合は、一部の取組項目の記載を省略することも可とする。また、医療機関など県以外の主体による取組についても、併せて記載する。

岩手県保健医療計画に係る進捗評価の実施について（評価調書関係）

3 今後の施策展開

- [取組の方向性等]
- がんの予防については、・・・
 - がんの早期発見については、
 - がん医療については、・・・
 - がんに関する情報提供及び相談支援について
 - がん登録については、・・・
 - また、「地域における喫煙ストップ大作戦事業」（ゼロ予算事業）により、禁煙支援マスターによる健康づくり教室実施するなど、○○に向けた・・・
 - こうした事業を展開していくことにより、・・・

「2進捗評価」欄を踏まえ、特に、遅れている部分をどう改善していくのかなどについて、次年度以降の予算事業の実施などを定性的に記載する。
さらに、こうした取組により「どのレベルまでを目指すのか」をまとめとして記載する。

4 特記事項

- 国において、小児がんの拠点病院について・・・という方向性を打ち出しており、今後の動向に注視しながら、本県におけるがん医療について・・・

国の動きやその他の外部要因など、当該項目に関連する重要事項について記載する。

《がん関連（予算）事業》

| 事業名 | 事業内容 |
|------------------|---|
| がん検診受診率向上対策事業 | がんによる死亡者を減少させるため、がん検診受診率50%を目標に、次の事業を行う。 ① 乳がん検診受診勧奨ポスターの作成、掲示 ② ピンクリボンフェスタの開催 ③ 企業、民間団体と連携したがん検診受診勧奨CMの放映 ④ がん検診に係る課題対策検討会（県内市町村・検診機関・郡市医師会とのがん検診受診に係る課題検討会の開催） ⑤ がん検診受診勧奨リーフレット作成・配布 ⑥ 民間団体等との連携による普及イベントの開催 |
| がん診療連携拠点病院機能強化事業 | 地域におけるがん診療連携の円滑な実施を図るとともに、質の高いがん医療の提供体制を確立することを目的として、次の事業を実施する。 ① がん医療従事者研修事業（緩和ケア医師研修の実施、国立がん研究センター開催の研修参加等） ② がん診療連携拠点病院ネットワーク事業（岩手県がん診療連携協議会の開催及び参加等） ③ 院内がん登録促進事業（がん登録関係書籍購入、がん登録従事者賃金等） ④ がん相談支援事業（相談員給与等） ⑤ 普及啓発・情報提供事業（市民公開講座の開催、患者用図書購入等） ⑥ 病理医の育成事業（病理診断補助員給与等） ⑦ 在宅緩和ケア地域連携事業（在宅緩和ケアマップの作成、地域クリティカルパスの作成と運用、がん性疼痛管理中心の研修会の実施等） |
| ・・・事業 | ・・・ |

予算事業と連動させる。

II その他の数値目標

（保健医療を担う人財の確保・育成）

| 目標項目 | 現状値 (H24) | H25 | 推移 | H26 | H27 | H28 | 目標値 (H29) |
|-----------------|------------|-----|----|-----|-----|-----|------------|
| 病院勤務医師数（人口10万対） | ㉔117.5人 | | ↑ | | | | ㉖125.3人 |
| 薬剤師数（人口10万対） | ㉔159.6人 | | | | | | ㉖172.0人 |
| 看護職員数（常勤換算） | ㉔15,704.4人 | | ↓ | | | | ㉖17,170.6人 |

主な取組内容、目標の進捗評価及び今後の取組の方向性等について、簡潔に記載する。

[進捗評価（主な取組状況等）]

- 医師については、・・・に取り組んだことにより、順調に・・・しており、今後とも、
- 薬剤師については、・・・

【進捗評価実施に係る基本的な考え方】

- 各疾病・事業及び在宅医療について、数値目標の経年変化による達成状況を4段階で評価するとともに、計画における「主な取組」について、＜ ＞の項目単位で定性評価を行う（記載が困難な場合は一部省略も可）。また、評価を踏まえた「今後の施策展開」欄を設け、PDCAサイクルのうち特に「C」と「A」を意識し、次年度以降の予算事業等も見据えた課題解決型の評価制度とする。
- 通常、評価においては、最終年度の目標値に対する現年度の達成率、あるいは前年度に対する伸び率など1年を単位として達成度を測定するが、本計画が5年間であることに鑑み、例えば、3年間の取組でも想定した実績が上がらなかったのは何故か、計画策定からある程度年経過した時点で進捗状況をどう捉えているかなど、複数年にわたる当該施策の状況も評価し得る記載方法を検討する。
- また、併せて「現状を把握するための指標」一覧表を本調書とは別に作成する。